

2022年6月30日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【エンジニアリング業】他社牽制力ランキング 2021

トップ3は栗田工業、JFEエンジニアリング、オルガノ

弊社はこのほど「エンジニアリング業業界」の特許を対象に、2021年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「エンジニアリング業業界 他社牽制力ランキング 2021」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2021年に最も引用された企業は、1位 **栗田工業**、2位 **JFEエンジニアリング**、3位 **オルガノ**となりました。

【エンジニアリング業業界 他社牽制力ランキング 2021 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	栗田工業	290
2位	JFEエンジニアリング	278
3位	オルガノ	133
4位	日鉄エンジニアリング	108
5位	日立パワーソリューションズ	99
6位	東芝プラントシステム	98
7位	東レエンジニアリング	78
8位	水ing	76
9位	神鋼環境ソリューション	68
10位	タクマ	64

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2021年12月までに公開されたすべての特許のうち、2021年1月から12月までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2022年4月15日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1位 **栗田工業**の最も引用された特許は「微細な懸濁物質が含まれる水から、懸濁物質を凝集分離する水処理方法及び装置」に関する技術で、オルガノと水ingの計4件の審査過程で引用されています。このほかには「処理水の分離固形物から凝集剤と研磨剤を分離回収して再使用でき、汚泥発生量を低減できるCMP（半導体製造の研磨工程）排液の処理方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、オルガノの計3件の拒絶理由として引用されています。

2021年に、栗田工業の特許による影響を受けた件数が最も多い企業はオルガノ（38件）で、次いで水ing（11件）となっています。

2位 **JFEエンジニアリング**の最も引用された特許は「被覆銅線とプラスチックを高精度に選別して取り出せる廃家電製品の処理方法」に関する技術で、JX金属などの計5件の審査過程で引用されています。このほかには「誘導溶液を高濃度化しなくても、浸透を効率化して正浸透装置の能力を高める手段」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、水ingなどの計3件の拒絶理由として引用されています。

2021年に、JFEエンジニアリングの特許による影響を受けた件数が最も多い企業はJFEスチール（12件）で、次いで日立造船（6件）です。

3位 **オルガノ**の最も引用された特許は「有機塩素化合物で汚染された地下水を、短時間で、かつ低コスト、低エネルギーで浄化することができる方法」に関する技術で、清水建設の計3件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2021年に、オルガノの特許による影響を受けた件数が最も多い企業は栗田工業（19件）で、次いで三菱ケミカル・アクアソリューションズ（8件）となっています。

4位 **日鉄エンジニアリング**は「ガスの排出流に随伴される粉粒や粉塵を低減するとともに、耐久性に優れる仕切板を備えるコークス乾式消火設備」、5位 **日立パワーソリューションズ**は「機械設備の外部環境が大きく変動した場合でも、適切に異常予兆の有無を診断する異常予兆診断装置」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【エンジニアリング業業界 他社牽制力ランキング 2021 データ】

▶納品物：以下のデータを収録したCD-ROM

- ・ランキング トップ30社：本業界の被引用件数上位30社のランキング
- ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL：03-5802-6580 FAX：03-5802-8271 HP：<https://www.patentresult.co.jp/>

